

まちのニュース

町内の話題をお届けします

歓喜の歌で市制を祝おう

第九合唱団が発足



市制施行をベートーヴェンの交響曲第九番第4楽章で祝おうと、合唱団が発足しました。

この合唱団は「市制施行の節目に、市民の力で何かイベ



▲発声練習をする合唱団のメンバー

ントを」と有志により発足。現在、約210人が登録しています。

11月13日には、発会式が保

健文化センターで行われ、指導にあたる市川雅子さんは

「今日は船出。楽しい1年半にして、平成25年の4月には皆さんの歌声が歓喜に満ちて響くことを楽しみにしています」とあいさつ。その後、パート分けや発声練習を行いました。

合唱団は今後、1年半かけて練習を行い、平成25年4月14日には茂原交響楽団の演奏に乗せて、歌声を披露する予定です。

※合唱団に興味のある方・入会を希望の方は第九実行委員会（☎72・3473）に問い合わせください。初心者でも参加できます。

千葉県農業者の手本に
千葉県農業者として認証

千葉県農業者として認証

若き農業者の手本に

千葉県庁で、11月17日に行われた「千葉県農業者・指導農業者認証式典」で、本町の浅岡勉氏（細草）、池田延好氏（北今泉）、池田信一氏（北今泉）、糸日谷学氏（北今泉）の4人が、「千葉県農業者」として新たに認証されました。

現在、4人は、JA山武郡市青年部大網白里支部、町農業研究会などで、幅広く青年農業者のリーダー的存在として活躍中です。

今後、地域農業の発展と若手農業者の育成・指導を担う農業者として期待が寄せられています。

手作り楽器のオーケストラ

青空パーカッション



「エコパーク大網白里子ども村」（清名幸谷）で、11月26日、手作りの楽器を作って演奏する「青空パーカッション」が子育て支援ネットワーク協議会の主催で行われ、親子連れなど約30人が参加しました。

参加者は1時間ほどかけて、竹をのこぎりや小刀で削ったり、穴を開けたりしてギロ、シェイカー、カズー、ボンゴを作製。色を塗ったり、絵を描いたりして、自分だけの楽器に仕上げました。

その後、ミュージシャンの相曾晴日さんらの伴奏・歌に合わせ、「北風小僧の寒太郎」、「おもちゃのチャチャチャ」などを演奏。自分で作った楽器を手にも、楽しそうにリズムをとっていました。

最後には全員で相曾さんのオリジナル曲を合唱。あたたかい歌声で締めくくりました。

救助袋で降下訓練

増穂中学校



▲救助袋を使った降下訓練

12月1日、増穂中学校では、災害時に慌てず落ち着いて行動できるようにと、南消防署の指導のもと、避難訓練を実施しました。

雨のため、予定していた地震の揺れの激しさを体験できる起震車の体験はできませんでしたが、火災発生時に3階から脱出する降下訓練を実施。3階に人が取り残されたとの設定で、ベランダに斜降式の救助袋を設置し、セッティング方法を確認したり、実際に降下して、降下時の注意点を学んだりしました。

また、煙で充滿した家を想定した煙ハウスを使って、煙から身を守るための訓練や、防災に関するビデオを視聴するなど、いつ襲ってくるかわからない災害に備え、学校全体で防災意識を高めています。

応急手当普及員の資格を取得

女性消防団員



▶応急手当の技術を学ぶ女性消防団員



本町の女性消防団員は、現在10人。町内で、救命講習の指導にあたるなど、地域防災の予防活動に幅広く取り組んでいます。

今年度、入団した女性団員1人が、応急手当での基礎的な知識技能の習得から基礎医学・資器材の取り扱い要領・指導技法・救命に必要な応急手当での指導要領等を学び、応急手当普及員として認定されました。

また、応急手当普及員の資格を持つ女性団員がさらなる指導技能等の向上のため、更新講習を受けました。

今後も、消防署が実施している普通救命講習の指導補助を務めるなど、女性団員は、応急手当での普及に努めていきます。



▶左から糸日谷学氏、池田信一氏、内田副町長、池田延好氏、浅岡勉氏